

平成29年度学校給食用牛乳供給円滑化推進事業の実施結果
(近畿農政局)

1 学校給食用牛乳供給推進会議

項目	府県名	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
(1) 日時		8月2日	7月28日	①7月26日、②12月12日	①6月20日、②3月7日	6月14日	①5月10日、②6月7日、③1月26日
(2) 場所		JAビル	雪印メグミルク(株)京都工場会議室	①府咲洲庁舎 ②府新別館北館	①神戸市婦人会館 ②楠公会館	農業振興会館	いずれも和歌山県民文化会館
(3) 参加機関と人数		県PTA連絡協議会、県教育委員会事務局、県栄養教諭・学校栄養職員研究会、(公財)滋賀県学校給食会、県農政部畜産課、滋賀県牛乳事業協同組合、全農しが畜産酪農家計11名	府内関係機関10機関計13名	①府環境農林水産部流通対策室、府教育庁教育振興室保健体育課、府健康医療部食の安全推進課、大阪市教育委員会、大阪畜産農業協同組合、(一社)大阪府牛乳協会計16名 ②上記①プラス(公財)大阪府学校給食会計16名	①(公社)兵庫県体育協会、県学校栄養士協議会、兵庫県酪農農業協同組合、県教育委員会保健体育課、神戸市教育委員会健康教育課、県農政環境部農林水産局畜産課、兵庫県牛乳協会計12名 ②上記①の内、県学校栄養士協議会を除く者計11名	県教育委員会保健体育課、奈良県学校栄養研究会、奈良県学校給食会、奈良県PTA協議会、奈良県酪農農業協同組合、県畜産課、奈良県牛乳協会計12名	①県畜産課、県健康体育課、和歌山県学校給食会、和歌山県農業協同組合連合会、和歌山県牛乳協会計8名 ②県畜産課、日本酪農協同(株)、泉南乳業(株)、和歌山県牛乳協会計9名 ③県畜産課、県健康体育課、和歌山県学校給食会、和歌山県農業協同組合連合会、乳業者、和歌山県牛乳協会計11名
(4) 議題		事業について、HACCP制度化について、学乳における衛生事故について、中学校給食未実施市の動向について、	今期の学乳事業について、業務方法書について、学乳事業に関する意見交換、普及事業について 学乳生産工場の現地視察	①規約改正、29年度学乳事業計画、学乳災害等負担金の預かり金について、残乳調査結果について、紙パック供給アンケート結果について、HACCP制度化に伴う府の取組について ②29年度の学乳預かり金について、平成29年度残乳調査について	①県内の学乳事業概要、28年度事業実績報告、29年度事業実施計画、学乳推進上の課題 ②29年度事業実施状況、30年度事業について、学乳推進上の課題について、食育事業について	28年度事業実績及び評価、29年度事業実施計画	①28年度事業実績について、29年度事業実施計画について、学校給食用牛乳新規利用推進事業について ②28年度事業実績について、29年度事業実施計画について、学校給食用牛乳新規利用推進事業について ③29年度事業実績報告

(5) 概要	資料説明	議題に関して活発な意見交換を実施、学乳生産工場の雪印メグミルク（株）京都工場の現場視察及び質疑応答	①各議題について資料に沿って説明、残乳調査結果に対しては「酪農教育ファーム」や出前授業も残乳の減少に効果があるのではないかと意見もあり、出前授業等の案内を行った、府健康医療部食の安全推進課からはHACCP制度の取組について詳細な説明があり、今後の課題について議論 ②残乳調査について、府流通対策室から食品ロス対策について30年度から具体的に動き出すので、牛乳も含め食べ残しがなくなるよう対応していきたいとの説明	①HACCP制度化に関する検討会の実施等の説明、牛乳パックのリサイクルに関する確認（学校が主体で供給業者は協力の関係） ②30年度を最後に供給業者による紙パック回収廃止決定、「牛乳の風味変化」には講習会当により学校関係者へ情報提供する。食育の取組に対する学校、市教育委員会の要望対応の確認	28年度事業実績及び29年度事業計画の承認、風味変化問題に関する説明及び意見交換	①28年度事業実施報告、29年度事業計画及び学校給食用牛乳新規利用推進事業について説明 ②28年度事業実施報告、29年度事業計画及び学校給食用牛乳新規利用推進事業について説明 ③29年度事業の中間報告
(6) 成果	学乳供給における関係者間の意見交換による現況確認、HACCPの内容の理解、衛生事故について情報共有	学乳生産の実態を知ることにより、品質管理に関する理解を深めた	①アンケート調査により市町村等から率直な意見をいただけた、HACCPの制度化に向けた府の取組の説明により理解が深まり有意義であった	学乳推進上の課題について取組方針を確認できた	季節や飼料、牛の状態により風味が変化することがあるとの理解、認識が得られた。	①及び②計画策定・課題等の協議・検討により円滑に事業を実施することができた ③学乳事業の進行状況を供給業者に把握して頂いた

2 学校給食用牛乳供給事業実施計画策定等に係る会議

項目	府県名	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
(1) 日時		1月19日	2月14日	3月5日	①7月12日、②8月22日、③11月20日、④2月7日、⑤2月21日	4月6日	(学校給食用牛乳供給推進会議と同時開催、内容は上記に同じ)
(2) 場所		県大津合同庁舎	京都府獣医畜産会館	ホテルモンレーグラスミア大阪	①～③及び⑤楠公会館、④県庁	奈良県市町村会館	
(3) 参加機関と人数		県内市町学校給食課、県立学校栄養教諭、県教育委員会保健体育課、県PTA連絡協議会、県栄養教諭・学校栄養職員研究会、(公財)滋賀県牛乳事業協同組合、全農滋賀畜産酪農課、兼農政部畜産課 計25名	府内12機関 計15名	府内学乳供給業者(一社)大阪府牛乳協会 計16名	①県内学乳供給業者、県畜産課、兵庫県牛乳協会 計17名 ②県内学乳供給業者、県畜産課、全国牛乳商業組合連合会指導員、兵庫県牛乳協会 計18名 ③県内学乳供給業者、兵庫県牛乳協会 計9名 ④県内学乳供給業者、県畜産課、県教育委員会、兵庫県牛乳協会 計20名 ⑤県内学乳供給業者、県畜産課、兵庫県牛乳協会 計13名	県教育委員会保健体育課、奈良県学校給食会、県内各市町村教育委員会、県内特別支援学校、奈良県牛乳協会 計76名	
(4) 議題		学校給食用牛乳をめぐる情勢について、平成29年度学乳供給について、学乳の風味変化について、酪農教育ファームについて、フローティングスクールにおける牛乳の取扱について	30年度学校給食用牛乳供給推進事業について、30年度入札状況について、学乳容器回収に関する協議、学校給食用牛乳推進事業に関する意見交換、普及事業について	30年度府学乳供給価格・供給区域別計画数量について、30年度学校給食用牛乳供給推進事業について、30年度全国学乳価格状況について	①28年度事業実施状況について、29年度事業について、学乳事業推進上の課題について ②29年度学乳の委託製造について、HACCP制度化対応について、学乳事業推進上の課題について ③及び⑤29年度アンケート	29年度学校給食用牛乳の供給について、29年度学校給食用牛乳供給推進事業について	

				調査結果、結果に基づく要検討2課題 ④29年度事業実施状況について、30年度事業について、学乳事業推進上の課題について	
(5) 概要	県内の酪農全般情勢、学乳供給に係る役割分担説明、供給価格決定の方法説明、学乳風味変化問題への対応について協議	議題に関し、参加各機関から情報を発信し、活発な意見交換を実施、容器回収の件については次回以降の継続課題	各議題について資料に沿って説明、その他29年度の残乳調査結果報告、学乳に関する学校からのクレーム報告	①28年度事業の実績報告、29年度事業の内容説明、牛乳パックの回収対応について ②各事業者でトラブルが生じた場合の製造委託先の調整、HACCPの概略や問題事例対応のポイント等の説明 ③及び⑤検食用牛乳の有償化、紙パック回収対応に対する意見交換 ④事業説明、紙パック回収対応に関する意見交換、風味変化問題に関する情報の共有化	学校給食用牛乳供給事業者の連絡先伝達、29年度保護者負担価格の説明
(6) 成果	学乳の現場担当者との意見交換により現況確認ができた	HACCPの導入を含め、30年度の活動内容を説明、新規学乳導入校の確認、日本乳業協会により牛乳の風味変化に関する説明があり、参加者の牛乳普及啓蒙に成果	学乳供給事業者による事業の円滑な実施について、伝達できた	①学乳供給事業者による事業説明を行い、補助金事務処理と事業推進上の課題について調整、牛乳パックの回収について、学校側の責任において行うことを確認 ②30年度以降の円滑なHACCP導入に向けた理解促進と調整が図られた ③及び⑤学乳事業に関する要検討2課題について議論することができた ④30年度事業の円滑な実施に向け課題について調整が図られた	事業について理解、了承をいただいた

3 実態調査等

項目	府県名	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
(1) 日時		4月1日～3月31日	①4月17日、②4月26日、③5月18日、④6月27日、⑤9月12日、⑥1月16日、	4月1日～3月31日	5月1日～2月20日 計16回	4月1日～3月31日	①5月10日、②6月7日、③1月26日
(2) 場所		全農滋賀県本部	①府畜産課、府教育委員会、②府教育委員会、京都市教育委員会、③府畜産課、府教育委員会、京都市教育委員会、④美山ふるさと(株)、⑤平林乳業(株)、⑥(一社)日本空港協会航空会館	(一社)大阪府牛乳協会事務所	県内学乳供給業者、学校給食センター等 計16カ所	奈良県牛乳協会事務所	いずれも和歌山県民文化会館
(3) 調査実施主体		全農滋賀県本部	京都府牛乳協会	(一社)大阪府牛乳協会	兵庫県牛乳協会	奈良県牛乳協会	和歌山県牛乳協会
(4) 調査目的		学乳事業の効率的な遂行	①～③学乳課題の確認、④及び⑤学乳生産工場の品質指導、⑥情報収集	学乳事業の効率的な遂行	現地調査及び事業推進打ち合わせ	学乳事業の効率的な遂行	①新規利用推進事業の需要調査、②学乳事業に対する意見聴取、③学乳供給業者が抱える問題点について
(5) 概要		29年度学乳事業の啓発、関係機関との連絡調整	①～③飲用牛乳普及啓発活動の説明、容器回収や飲み残り問題の協議、④及び⑤HACCP取得に向けた品質管理指導現地確認、⑥全国会議出席	29年度学乳事業の啓発、関係機関との連絡調整	学乳供給事業者の衛生管理状況の確認、HACCP未対応工場の指導、給食センター、市町教育部局との意見交換	29年度学乳事業の啓発、関係機関との連絡調整	①県健康体育課からの報告、②今後の学乳事業について供給業者と議論、③学校への納品時間の検討
(6) 成果		29年度事業に係る関係機関との情報共有により、円滑な実施ができた	①～③容器回収や飲み残りに関する認識を共有、④及び⑤今後のHACCP取得のための行動確認	29年度事業に係る関係機関との情報共有により、円滑な実施ができた	HACCP対応供給業者について良好な衛生管理状況を確認、HACCP未対応供給業者については指導員の助言、給食センター、市町教育部局については事業実施状況、牛乳パック回収対応への理解が深まった	29年度事業に係る関係機関との情報共有により、円滑な実施ができた	①報告により需要を把握、②事業の趣旨・考え方について供給業者の理解が深まった、③問題点を把握